リユースPC寄贈プログラム

このたびは、第95回リユースPC寄贈プログラムに申請いただき、ありがとうございました。

●引き続き、以下の申請に必要な書類の郵送、またはメールに添付して送信をお願いいたします。

 a.送付票（以下より入手して下さい）

　　　https://www.eparts-jp.org/program/reuse/document/soufu95.docx

 b.活動報告書（任意の形式で最新1年分）

 c.会計報告（任意の形式で最新1年分）

 d.活動計画書（任意の形式で最新のもの）

 e.予算書（任意の形式で最新のもの）

 f.その他活動の様子がわかるもの（チラシ、新聞掲載記事など）

※a-fは、リユースPCの必要書類です。リユースPC寄贈プログラムに応募される方は提出してください。

※同時に複数の寄贈プログラムへ申請の方は、上書類は一部ずつで結構です。ただし送付票は寄贈プログラム毎に提出して下さい。

必要な申請書類すべてを事務局にて受理した時点で正式な申請受付とし、

締め切りは、2020年3月2日（必着）です。

選考の結果は、2020年3月下旬頃に、メールにてご連絡します。

また、イーパーツウェブサイトでも公表させて頂きます。

【郵送先】

特定非営利活動法人イーパーツ

〒154-0024　東京都世田谷区三軒茶屋2-55-8 パレグレイス501

【問い合わせ先】

リユースPC寄贈プログラム事務局

電話：03-5481-7369（平日13～17時）

メール：reuse-pc@eparts-jp.org

▼以下はフォームから送信した内容です。

===ここから=======================================

【受付番号】 PC2002293129

■1\_1\_覚書

同意します

■1\_2\_寄贈品の確認

同意します

■2\_定款会則有無

有る

■3\_団体種別

NPO法人

■3\_団体種別 その他の場合

■4\_団体名

特定非営利活動法人

■5\_事務所 郵便番号

601-8433

■5\_事務所 都道府県名

京都府

■5\_事務所　所在地

京都市南区西九条東柳ノ内町43番地

■6\_電話番号

075-574-7088

■7\_FAX番号

075-574-7088

■8\_Email

flower-mh@outlook.jp

■９\_URL

https://flower-mh.wixsite.com/emamoemamo/untitled-mainpage

NPO 特定非営利活動法人 京都フラワー - emamoemamo

特定非営利活動法人 社会的就労支援センター 京都フラワー 法人の理念～すべての人達に働く場と雇用と社会保障を！ 京都フラワーは就労継続支援a型事業所です。

flower-mh.wixsite.com

■10\_事務所の形態

独立した事務所

■10\_事務スペース共同相手

■10\_事務スペース共同相手 その他の場合

■11\_代表者

堀田正基

■12\_申請責任者

堀田正基

■13\_本申請内容

団体の同意のもとに申請してます

■14\_申請責任者の役割

役員

■14\_申請責任者の役割 その他の場合

■15\_活動目的

保健・医療・福祉の増進

■16\_活動開始-年

2015

■16\_活動開始-月

3

■17\_スタッフ数

10

■18\_有給スタッフ数

10

■19\_ボランティア数

1

■20\_施設利用人数

5，177

■21\_昨年度の収支\_万円

70，823，033

■22\_取組や今後の予定

特定非営利活動法人 社会的就労支援センター 京都フラワー(以下、京都フラワー)は、平成27年3月20日に京都市に就労継続支援A型事業の指定を頂き、EU圏内の社会的企業の仕組みを取り入れました。特に労働統合型社会的企業は一般企業等と提携し、失業者も障害者も同じ施設で訓練を受け就職していきます。京都フラワーはA型事業のフレームを活用し、就職困難者のアルバイター等を雇用して支援員に養成し、障害のある方々の就労支援に当たっています。 開設以来、病院清掃、ホテルのベッドメイクを施設外就労制度で展開していますが技術取得までに時間がかかるため、誰もが親しめる仕事として、青果仲卸問屋様で、平成29年5月より施設外就労制度を利用し、作業場をお借りして青果袋詰め作業を開始しました。 青果問屋様の業務拡大に伴い、最大32名の利用者が受け入れ可能に。現定員は20名ですが、法令で定員の超過率125%が認められ、毎日25名が利用可能です。A型事業の給付金収入で、職員人件費等の課題も徐々に改善します。給付金収入を蓄え2年ｷ)ﾀｶ紊砲録靴燭塀∀・兮鎧抉A型事業所の開所を目指し、障害のある方々の雇用拡大を目指します。

■23\_昨年度の主な活動内容

・平成30年度の定員は20名で、利用定員は27名でした。 年間総利用者数は、58，177人で、ホテルのベッドメイク、病院清掃を実施しているため、 ・京都フラワーの年間開所日数は365日となりました。 ・契約企業は、5社で、7か所で施設外就労を展開しています。職種は、病院清掃、ベッドメイク作業、工場内構内清掃、青果袋詰めの4業種となります。 ・労働時間は、ベッドメイク作業のみが4.5時間で、他はすべて、労働時間は5時間となります。 ・京都フラワーは、平成27年3月20日の開業以来、利用所給与の根幹となる時給は、その年々に制定された各都道府県の最低賃金に則して時給を支払っています。 　※　総就労時間：22，247，917時間 　※　平均工賃：81，494円

■24\_活動の工夫

・スタッフ教育に関しては、事務局が企画立案しております。年間8回を目標に、虐待等についての教育を中心に行っています。職員の入れ替わりもあり、毎年、似たような講習もありますが、初心を忘れないためにも、レジュメの内容を少しづつ変えてパワーポイントで製作しています。 ・協力企業様との連携について、外務統括部があり、共同でバーベキュー大会、忘年会等の提案を行う等、企業と福祉を連携するために、様々な工夫を凝らして、企画を提案しております。また、協力企業様の経費等の調整は、内務統括部門で行っており、経営に関する多 角的な提案をすることで、経費の抑制などが実現しており、利用者の収益事業を支えるために高度なエクセル操作が必要となってきます。また、法人全体の経理も担当しており、最もPCを必要とするセクションです。 ・利用者、社員向けの機関誌も発行しています。これは、事務局で発行しており、最も大きなトピックスを完結にまとめ、利用者さんに楽しんでもらう工夫は難しいことですが、スタッフの熱意は毎回、利用者さんに伝わっており、「次は、いつ出るの」と言う声を掛けてい ただくことがｷ)ﾀｿ・┐討④泙靴拭

■25\_イーパーツ寄贈年

■25\_イーパーツ寄贈品

■26\_現在のPC数

9

■27\_団体のPC数

9

■28\_PCの課題

当法人では、10名の職員が働いています。保有パソコンは8台で、5台がウインドウズ7、3台がウインドウズ10です。施設外就労の現場から帰ってきた職員は、交代しながら、日々、ケース記録、日報、月別のモニタリグ評価、個別支援計画を作成しています。すべての職員にパソコンに行き渡っておらず、残業や、休日出勤で対応している職員がどうしても出てきます。それによる残業代、休日出勤の経費がかかることが課題で、すべてのパソコンをウインドウズ10にできていないことも課題で、早期の入れ替えが必要と考えています。

■28\_1TOSHIBA　dynabook Satellite B554/Kおよび同等機\_希望台数

3

■28\_2デスクトップPC NEC Mate PC-MK34LBZNH\_希望台数

1

■30\_リユースPCの利用法

団体事務 / 広報情報発信

■30\_利用法その他詳細

■31\_寄贈PC利用計画

職員一人に一台のパソコンが最も理想的です。施設外就労の現場にパソコン導入することで、協力企業の担当者に、利用者の能力獲得の様子を、数値やグラフ化、また、動画を見ていただくことで就労移行が可能になると考えます。このケースで就職した利用者は5名おります。現場にパソコン設置を常態化すれば、更に就職につながるケースは増えるでしょう。現場にパソコンを導入することで、1日のケース記録、日報等を現地で作成することが可能になり、職員が事業所に戻り、次の日の作業の準備や、終礼、会議等の報告等に専念できるので、定時での帰宅も可能になり、残業等の経費も削減ができる見通しです。

=======================================ここまで===